



題字 学校運営協議会委員 穂苺真里子様

10月号

令和6年9月30日

杉並区立荻窪小学校

TEL 3333-6628

[http://www.suginami-school.ed.](http://www.suginami-school.ed.jp/ogikuboshou/)

[jp/ogikuboshou/](http://www.suginami-school.ed.jp/ogikuboshou/)

「減点法」と「加点法」の両輪を軸に

校長 手塚 成隆

学校のテストは概ね100点満点でつくられており、一連の学習の中で身に付ける必要がある内容が、10問、または20問という問題数の中で構成されています。

長い学校教育の中で定着してきたテストに対し、私たち教員は「テストは、100点満点である」という一つの考えのもと、子どもたちに指導してきました。また、大人も例えば、テストの点数が80点だったら「よく頑張ったね」とか、「次は頑張ろうね」など、子どもの実態に応じて励ましてきたことだと思います。

100という数字はとても分かりやすく、教員はテストの100点を基準に、授業の中で一人一人の子どもがどこで躓いているのかを確認することができます。一方、子どもは満点という一つの目標に向けて努力しやすい数字です。この満点から、間違えた要素を引いていく方式を「減点法」と言います。

一方、学校の外の実社会に目を向けると、100点というゴールはなく、努力し続け成果を見出せばそれが評価となり、さらに高みを目指していかなければなりません。学校教育の中では、先週まで各教室の前に展示されていた「自由研究」がこれにあたるかもしれません。

「自由研究」にも、100点満点はなく、そして決められたゴールもありません。自分自身の問題意識に対して、考えたり、調べたり、体験したりする中でゴールを見出していきます。この取組に対して、良い面をプラスとして加点する方式を「加点法」と言います。

宇宙工学者であり工学博士でもある川口 淳一郎氏は、自身の著書の中で「減点法」と「加点法」について次のように話しています。

「減点法と加点法の違いは一言で言えば、失敗をカウントするか、成功をカウントするか、ということです。(中略) 実社会ではどちらか一辺倒になることなく、両方が併用されるのですが・・・。」

学校教育においても全く同様であると考えています。漢字学習、計算練習など身に付けなければならない基本的事項は、減点法を活用し、100点に近づけ確実に定着させていく必要があります。

一方、実社会を見据え、子ども自らが課題解決に向けた取組に対し、伸びしろを認め励ましていくことが一層重要になります。



夏休みの自由研究で作った子どもの作品です。作りながら、どんな夢があったのでしょうか。

多くの人は評価を求めて生き、その評価方法に合わせて行動も変化していきます。川口氏は「失敗がカウントされるなら、失敗を減らすように努めるし、成功がカウントされるなら成功を増大させるよう努める。」とも言っています。

学校は「減点法」と「加点法」の両輪を軸に据え、その場その場にふさわしい指導方法を実施していく必要があります。2学期は「荻小スポーツフェスティバル」「アートウィーク」と大きな行事があります。これらはまさに「加点法」をとおして子どもたちの力を最大限に伸ばしてまいります。

※ 川口淳一郎氏の著書：「はやぶさ」式思考法

◆子どもたちの体力向上について

体力向上委員会

5月に行った体力テストの結果が出ました。荻窪小学校の子どもたちはソフトボール投げの成績が優れている傾向にあり、投げるための筋力や動作のバランスが良好であることがわかりました。一方で瞬発力（立ち幅跳び、反復横跳び）、腹筋運動（上体起こし）、柔軟性（長座体前屈）が課題として挙げられました。特に、短時間で力を発揮する瞬発力や体幹の筋力、柔軟性がやや低い傾向が見られました。

現代の子どもたちにおいて、デジタル遊びの増加や遊び場の減少による運動不足が体力低下の要因として挙げられます。瞬発力や体幹の筋力は、日常的な運動量や活動の少なさが影響していると考えられます。加えて、ストレッチや柔軟運動を行う機会が少ないと、関節や筋肉が硬くなり、柔軟性の低下を招く要因となります。

今後の更なる体力向上に向けて、今年も「荻小パワーアップカード」を活用していきます。鉄棒、固定遊具、縄跳びの技が一覧になっており、昨年度も多くの子どもたちが積極的に技に挑戦していました。鉄棒でぶら下がりや逆上がりは腹筋と背筋を鍛え、縄跳びや固定遊具を使った活動は瞬発力やバランス感覚を高めます。

運動能力の向上は、学力の向上にも関係すると考えられています。運動によって血流が促進され、脳への酸素供給が増加することで、集中力や記憶力が高まります。また、体を動かすことでストレスが軽減され、精神的な安定が得られるため、学習意欲が向上します。

暑さも和らぎ、運動のしやすい季節、スポーツの秋となりました。荻小スポーツフェスティバルや授業、休み時間に様々な運動や動作に親しみながら、児童の体力向上を目指していきます。

道徳授業地区公開講座

道徳担当

9月14日（土）道徳授業地区公開講座を行いました。多くの保護者の方にご参加いただきありがとうございました。

学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの道徳性を一層充実させることを意識して、私たちは週1時間の道徳科の授業に取り組んでいます。今年度は、全学級が「生命の尊さ」をテーマに授業を行い、生きることの素晴らしさを知ること、自分を大切にすること、生命のつながりや生命を尊重することについて学習しました。6年生は「ある犬のおはなし」という犬が殺処分されてしまうという内容の教材で授業を行いました。とても重く、悲しい話に涙ぐむ子どももいました。授業を通して、真剣に自分以外の命について考え、これから自分はどんなことができるのかを友達と話し合いました。道徳教材はどこか他人事のようにありますが「自分事」として考えられるように、日々の子どもたちの様子をもとに授業を進めてまいります。

また、授業参観後は体育館にて、八王子市立恩方第一小学校学校心理士スーパーバイザー 浦野 裕司先生の講演会を行いました。たくさんのご参加ありがとうございました。

浦野先生には『子どもの心に寄り添う ～かけがえのない命をかがやかせるために～』というテーマでお話していただきました。我々教師も、子どもたちと一緒に「生命の尊さ」について考える1日でした。今回の道徳授業地区公開講座をきっかけに、道徳科の授業についてご家庭でも話題にいただけると嬉しいです。



R6年度 全国学力調査の結果

【国語】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
杉並区立荻窪小学校	115	11.0 / 14	78
東京都（公立）	92,761	9.8 / 14	70
全国（公立）	947,364	9.5 / 14	67.7

【算数】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
杉並区立荻窪小学校	115	12.5 / 16	78
東京都（公立）	92,782	10.9 / 16	68
全国（公立）	947,579	10.1 / 16	63.4

【児童質問】より

(20)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか		できてる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できていない	%
		荻窪小	45.6	40.4	10.5	3.5	%
		東京都	33.5	47.2	15.7	3.5	%
		全国	30.3	50.4	16.2	3.1	%

「全国学力調査」が今年度は6年生のみを対象に「国語」「算数」「児童質問」で行われました。国語も算数も平均正答率の状況は、全国平均や東京都の平均以上の結果が見てとれます。

荻窪小学校では『学ぶ子ども』を育てる」という研究テーマのもと、今年度も授業改善を行っています。子どもたち一人一人に深く考える場面を設定し、主体的に問いの解決を目指したり、自分に合った学習方法を選択したりできる力を引き続き育てていきます。

その他の「学習状況調査（児童質問）」中でも以下の項目を紹介します。

(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか		4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間以下	全くしない	%
		荻窪小	6.1	7.9	7.9	28.1	33.3	15.8	%
		東京都	14.8	10.5	17.1	25.2	21.3	11.1	%
		全国	17.7	12.6	18.9	25.1	17.7	8.0	%

(6)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）		4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以下	持っていない	%
		荻窪小	4.4	7.9	10.5	18.4	14.0	18.4	26.3	%
		東京都	10.2	7.4	11.9	17.1	14.5	18.0	20.8	%
		全国	11.9	8.8	13.1	17.3	13.3	14.6	21.1	%

(23)	あなたの家には、おおよそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）		0～10	11～25	26～100	101～200	201～500	501以上	冊
		荻窪小	3.5	13.2	23.7	26.3	20.2	13.2	%
		東京都	10.3	17.9	32.3	19.7	13.1	6.6	%
		全国	14.6	21.3	32.2	17.0	10.2	4.7	%

(5)の結果からゲームの時間については長時間行っている児童は少なく、時間が少ない割合が多く見られました。

(6)のSNSや動画の視聴は調査平均とあまり変わらない結果でした。ゲームではなくスマートフォンなどを使用している割合が一定数見られます。新聞や報道でも取り上げられていましたが、ゲームやSNS、動画視聴は、正答率との関連があるのではとされています。(23)については本が身近にある環境の割合が高い結果でした。ゲームやスマホを近くに（手にとりやすい）置く環境ではなく、本が身近にあり、短い時間でも本が読めるようになるよう、学校でも読書月間等で指導してまいります。ご家庭でもSNSや読書について話題にしてみてください。

10月の行事予定

(授業日数 21日)

日	曜	朝	学校行事・児童会活動等	授業時数					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	火		都民の日 移動教室2日目(6年)						6
2	水		4時間授業 B時程 移動教室3日目(6年)	4	4	4	4	4	6
3	木		B時程 振替休業日(6年)	5	5	6	6	6	0
4	金	朝学習	演劇鑑賞教室(4年)	5	5	5	6	6	6
5	土								
6	日								
7	月		安全指導 荻小スタンダード確認日 移動プラネタリウム(6年) 1年生月曜日5校時開始	5	5	6	6	6	6
8	火	全校朝会		5	6	6	6	6	6
9	水		荻小スポーツフェスティバル特別時程始 B時程 4時間授業 校内研究会(3-1 5時間)	4	4	4	4	4	4
10	木	委員会紹介 集会		5	5	6	6	6	6
11	金	朝学習		5	5	5	6	6	6
12	土								
13	日								
14	月		スポーツの日						
15	火	朝学習		5	6	6	6	6	6
16	水		B時程 クラブ	5	5	5	6	6	6
17	木	音楽朝会		5	5	6	6	6	6
18	金	朝学習		5	5	5	6	6	6
19	土								
20	日								
21	月	朝学習	荻スポ係活動(6年6校時) 5時間授業(1~5年)	5	5	5	5	5	6
22	火	体育朝会		5	6	6	6	6	6
23	水		B時程	5	5	5	5	5	5
24	木	朝学習		5	5	6	6	6	6
25	金		荻小スポーツフェスティバル①(表現のみ) 4時間授業(1~5年) 前日準備(6年5校時)	4	4	4	4	4	5
26	土		荻小スポーツフェスティバル② 4時間授業(1~5年) 片付け(6年5校時)	4	4	4	4	4	5
27	日			5	5	5	6	6	6
28	月		振替休業日						
29	火	朝学習		5	6	6	6	6	6
30	水		B時程 委員会	5	5	5	5	6	6
31	木	音楽朝会		5	5	6	6	6	6

《主な行事予定》

◆6年生 移動プラネタリウム

7日(月)

「月と太陽」の学習をより確かなものとするために済美教育センターによる理科出前授業が開催されます。各学級1時間の学習内容で体育館にて行う予定です。

4年生 演劇鑑賞教室

4日(金)

杉並区の公共劇場「座・高円寺」に電車に乗って行きます。演目「小さな王子さま」を鑑賞します。

荻小スポーツフェスティバル

詳細は配布するお知らせをご覧ください。

避難訓練

10月も予告なしの避難訓練が行われます。2次避難として、近くの宮前公園まで避難をします。

サイエンスグランプリ

区内小学校の代表児童による科学作品が11月2日(土)~4日(日)の期間で展示されます。

場所は、IMAGINUS 杉並区高円寺北2-14-13(杉並第四小学校跡地)です。

